



ここは港区の情報ポータルサイト。最新の耳より情報がいっぱいです！

検索するキーワードを入力

検索

[Kissポートからのお知らせ](#)[今月のおススメ！](#)[イベント情報・チケット情報](#)[サークル情報](#)[施設案内](#)[港区探訪](#)[ふれあいコラム](#)[連載コラム](#)[地域人](#)[Kissポートギャラリー](#)[T 文字サイズ](#)[大きい](#)[ふつう](#)[小さい](#)[HOME](#) > [ふれあいコラム](#): 水谷八重子さん

ふれあいコラム

今、話題の人物をクローズアップ！

[バックナンバー](#)

女優

みずたに やえこ

水谷 八重子さん



■プロフィール

水谷 八重子(みずたに やえこ)
1955年新派初舞台、同日ジャズ歌手としてもデビュー。以来、TV、映画、舞台で活躍。母親、八重子の死後、新派の大黒柱としての存在となる。1995年二代目水谷八重子を襲名。平成13年紫綬褒章を受賞。旧芸名 水谷良重。

新しいものに触覚を

水谷さんと言えば『新派』と、あたかも代名詞のように世間に浸透していますが、『新派』とはどういったものなのでしょう。

「簡単に言えば、『わかりやすく』、『面白い』芝居を目指してきた商業演劇のはしりみたいなものと解釈していただければ良いのではないのでしょうか。『新派』の先人達は、娯楽としてお客様に喜んでいただくために何でもやりました。そのために新しいものへ常に触覚を張り巡らせ、いろいろなことを吸収してきました」

スクリーンは聴衆の数だけ

今年で二回目となる「大つごもり」(「大つごもり」とは大晦日の意。皆さんご存知でしたか?)では、明治語で書かれた樋口一葉の原作を水谷さんが朗読され、現代語で書かれた久保田万太郎脚色の新派の名舞台「大つごもり」を、新派の若手劇団員の方々が演じられるという、今までにないスタイルの舞台を公演されるということですが、芝居と朗読の大きな違いとは？

「芝居の場合は、お客様に舞台の世界にお入りいただきたいと思っています。朗読の場合は、お客様の頭の中か、胸の中かわかりませんが、どこかに映像を映し出すスクリーンのようなものがあって、そこに各自で映像を描き出していただき、それを楽しんでいただきたい。ですから、スクリーンは十人十色、お客様の数だけ存在します」

二度とできないコラボレーション

「芝居では、お客様は第三の共演者になります。朗読するときには、お客様が唯一の共演者になりますから、いつもどんな相手役なのかなあという『怖さ』を感じています。お客様という共演者とは、本番でしか合わせることはできませんから(笑)。同じ舞台でも、二度と同じものは生まれません。刹那の空気を一緒に吸っているということを大切にしたいと思っています」

日本人のきめの細やかさを耳で感じて、味わってもらいたいと話される水谷さんの口からは、一語一語噛み締めるように、私たちが失ってしまった「美しい日本語」を耳にすることができました。これも『新派』という、新しいものを貪欲に追い求めてきた集団の中にいたからこそ、逆に日本文化の良さを肌で実感されてきたからでしょうか。

インタビュー後、「うちの猫ちゃん可愛いでしょ？」と携帯電話の画面を見せてくださった表情から、一瞬、素顔の水谷さんを垣間見ることができたような気がします。そんな水谷さんが出演される「大つごもり」に皆さんもぜひ参加して、コラボレーションを楽しませてはいかがでしょうか。

[▲このページのトップへ](#)

| [個人情報保護について \[PDF\]](#) |

Kissポート財団

(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティーふらざ

電話: 03-5770-6837/Fax: 03-5770-6884

お問い合わせ: fureai-info@kissport.or.jp

 [Kissポート財団について](#)



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。